



2020年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月12日

上場会社名 株式会社セルシード 上場取引所 東
 コード番号 7776 URL https://www.cellseed.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 せつ子
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 最高財務責任者 (氏名) 小野寺 純 TEL 03-6380-7490
 定時株主総会開催予定日 2021年3月26日 配当支払開始予定日 -
 有価証券報告書提出予定日 2021年3月29日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期の連結業績（2020年1月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期	199	△27.7	△719	-	△744	-	△783	-
2019年12月期	275	△73.1	△780	-	△786	-	△782	-

(注) 包括利益 2020年12月期 △776百万円 (-%) 2019年12月期 △786百万円 (-%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年12月期	△55.31	-	△55.4	△45.7	△360.7
2019年12月期	△66.60	-	△57.6	△51.7	△283.1

(参考) 持分法投資損益 2020年12月期 △14百万円 2019年12月期 -百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期	1,806	1,526	83.1	93.85
2019年12月期	1,456	1,345	91.1	102.24

(参考) 自己資本 2020年12月期 1,502百万円 2019年12月期 1,327百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年12月期	△700	△12	1,102	1,460
2019年12月期	△577	△133	721	1,065

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年12月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2020年12月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2021年12月期 (予想)	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	50	△13.8	△587	-	△601	-	△601	-	△37.54
通期	213	7.0	△976	-	△998	-	△998	-	△62.34

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期	16,008,319株	2019年12月期	12,981,819株
② 期末自己株式数	2020年12月期	154株	2019年12月期	154株
③ 期中平均株式数	2020年12月期	14,173,325株	2019年12月期	11,748,381株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年12月期の個別業績（2020年1月1日～2020年12月31日）

(1) 個別経営成績（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期	199	△27.7	△718	—	△728	—	△768	—
2019年12月期	275	△73.1	△781	—	△787	—	△783	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期	△54.19	—
2019年12月期	△66.68	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期	1,835	1,555	83.5	95.70
2019年12月期	1,477	1,366	91.3	103.88

(参考) 自己資本 2020年12月期 1,532百万円 2019年12月期 1,348百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、4ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 次期の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	4
(3) 次期の見通し	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	18
(重要な後発事象)	19

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する分析

当連結会計年度におけるわが国経済及び世界経済は、世界的大流行となった新型コロナウイルス感染症の影響により世界各地で経済活動の制限が行われたことから、極めて厳しい状況となりました。日本においても2020年3月に緊急事態宣言が発出され、医療活動、経済活動へ大きな影響が出ました。さらに2020年11月ごろから新型コロナウイルス感染症の3回目の感染拡大が進んでおり、2021年1月には再び緊急事態宣言が発出されるに至るなど、経済活動の停滞や景気後退懸念が払しょくされず、先行きが不透明な状況が継続しております。

当社グループはこのような環境の下、全社員の健康と安全を確保するため、在宅勤務を原則とする勤務体制を実施するなどの対策により感染拡大防止に努めつつ再生医療支援事業及び細胞シート再生医療事業における活動を推進いたしました。

この結果、当連結会計年度における売上高は199,466千円(前連結会計年度比76,357千円の減少)、営業損失は719,521千円(前連結会計年度比61,275千円の減少)、経常損失は744,701千円(前連結会計年度比41,532千円の減少)、親会社株主に帰属する当期純損失は783,860千円(前連結会計年度比1,462千円の増加)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

① 再生医療支援事業(培養器材事業、製造受託など)

再生医療支援事業では、将来に向け更なる器材事業の成長を目指し、引き続き新製品の研究開発に取り組みました。販売面におきましては、新型コロナウイルスをはじめとした様々な感染症やがん疾患などの予防法や治療法を開発するための研究用細胞の大量培養を目的とした新たな市場へ製品供給を開始し、更には器材製品の拡販に向けた既存代理店との更なる協業強化及び積極的な販売促進活動を引き続きおこなった結果、当連結会計年度において、特に海外売上が順調に伸び、前連結会計年度に続き過去最高の売上を達成することが出来ました。

当社細胞培養センターを活かした再生医療を支援する再生医療受託事業については、共同研究先である東海大学で自己軟骨再生シートの先進医療Bの治療が開始されております。当社は東海大学から製造を受託し、新型コロナウイルスの感染拡大により手術の延期等の影響により当初の売上計画は未達であったものの、年間で3症例の売上を計上することが出来ました。

以上のような結果、当連結会計年度における売上高は147,314千円(前連結会計年度比30,179千円の増加)、営業損失は38,901千円(前連結会計年度比5,043千円の減少)となりました。

② 細胞シート再生医療事業

細胞シート再生医療事業では、食道再生上皮シート及び軟骨再生シートの細胞シート再生医療等製品パイプラインの自社開発を中心とした研究開発を推進しております。

食道再生シートパイプラインでは、追加治験の開始に注力して参りました。

2016年8月より進めて参りました治験については2018年4月までに治験実施施設での症例登録を終了しましたが、本製品の安全性は確認できたものの、有効性を証明するには十分なデータであるとは言い切れず、独立行政法人医薬品医療機器総合機構(以下、PMDA)からは、追加治験を実施する必要がある旨の回答がありました。

その後、食道癌の内視鏡治療後の食道狭窄予防に安価な治療方法としてステロイド投与が認知されてきたことから、追加治験はステロイド投与にリスクがある患者を対象にし、必要な症例数等を含め、PMDAと継続して協議を行ってきた結果、2020年7月には追加治験を実施することを決定し同年10月には治験届を提出いたしました。

このような経緯から対象患者をステロイド投与にリスクがある患者に限定したこと、PMDAから当初の治験よりも多い症例数を求められていることから、製造販売承認申請の時期を2025年に予定していますが、治験施設の追加など、治験期間の短縮に向けて、引き続き検討を重ねて参ります。

なお、当社スウェーデン子会社を拠点とする、欧州における食道再生上皮シートに関する開発につきましては、内視鏡治療の欧州での普及が当初想定したよりも進んでいないこと、上記の日本における製造販売承認の取得に注力するため、中止することを決定いたしました。

軟骨再生シート再生医療等製品パイプラインでは、同種細胞をストックするためのセルストックを構築するための仕組みづくりを模索してまいりました。

しかしながら商業利用を前提としたセルストック構築には、各種医療機関・行政における細胞を採取・保管・供給するための仕組み作りに未整備な点が見受けられ、企業として組織の入手が困難であったため、まずは研究用途に限った軟骨細胞を成育研から入手して、研究開発を行って参りました。

2020年12月には成育研の倫理審査委員会から、多指(趾)症(生まれつき指の数が5本より多い疾患)患者から採取した軟骨組織の提供等について承認を取得し、ようやく商業利用可能な軟骨組織を安定的に入手することができるようになったことから、今後は同種軟骨細胞シートの治験及び製造販売承認に向けての研究開発を加速させて参ります。

海外展開におきましては、2020年11月に三顧股份有限公司(MetaTech(AP) Inc.)に対して5,000万円の売上を計上いたしました。

当該売上は、三顧股份有限公司(MetaTech(AP) Inc.)と細胞シート再生医療事業(食道再生上皮シート・軟骨再生シート)の台湾での独占的な開発・製造・販売権を付与する契約を2017年4月に締結しており、この契約にお

いて軟骨再生シートによる治療を開始し、10 症例の治療完了時には、5,000 万円のマイルストーン収入(目標達成報奨金)を受領することになっていたものによるものです。

今後も引き続き三顧股份有限公司(MetaTech(AP) Inc.)に対して食道再生上皮シート及び軟骨再生シート事業にかかる支援を行って参ります。

以上のような活動の結果、当連結会計年度における売上高は52,152千円(前連結会計年度比106,537千円の減少)、営業損失は390,492千円(前連結会計年度比33,755千円の減少)となりました。

(2) 財政状態に関する分析

(資産)

当連結会計年度末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて376,701千円増加し、1,622,187千円となりました。これは、現金及び預金が395,794千円増加したことなどによります。

当連結会計年度末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて26,485千円減少し、184,270千円となりました。これは、有形固定資産が29,113千円減少したことなどによります。

この結果、当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べて350,215千円増加し、1,806,457千円となりました。

(負債)

当連結会計年度末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて9,637千円増加し、120,084千円となりました。これは、買掛金が4,548千円減少した一方で、未払金が7,755千円、未払法人税等が7,470千円増加したことなどによります。

当連結会計年度末の固定負債は、前連結会計年度末に比べて160,000千円増加し、160,000千円となりました。これは、長期借入金が160,000千円増加したことによります。

この結果、当連結会計年度末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて169,637千円増加し、280,084千円となりました。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて180,578千円増加し、1,526,373千円となりました。これは、親会社株主に帰属する当期純損失を783,860千円計上した一方で、新株予約権の発行およびその一部の行使による株式の発行により資本金が475,951千円、資本剰余金が475,951千円増加したことなどによります。

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、前連結会計年度末に比べて395,794千円増加し、1,460,867千円となりました。当連結会計年度に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において営業活動に使用した資金は700,678千円(前連結会計年度比123,166千円の支出増)となりました。これは、税金等調整前当期純損失を780,060千円計上したことなどによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において投資活動の結果使用した資金は12,615千円(前連結会計年度比120,658千円の支出減)となりました。これは、有形固定資産の取得による支出6,450千円などによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において財務活動の結果獲得した資金は1,102,928千円(前連結会計年度比381,680千円の収入増)となりました。これは、新株予約権の行使による株式の発行による収入938,683千円、長期借入による収入160,000千円などによるものです。

(3) 次期の見通し

再生医療支援事業では、引き続き器材製品を中心に特に海外の販売の拡大を図って参ります。また、再生医療に関わる総合的なサポートを通じて、再生医療の研究開発・事業化を支援する再生医療受託製造等を推進いたします。これらを通してセグメント売上高173百万円を見込んでおります。

細胞シート再生医療事業では、当期に引き続き主に食道再生上皮シート及び軟骨再生上皮シートの開発の推進して参ります。当該開発には引き続き研究開発費を要する見込となっております。また、2017年4月にMetaTech社と細胞シート再生医療事業に関する台湾での独占的事業提携契約を締結し、本契約を通じて次期に寄与する売上及び国内を含めたアジア諸国の新規事業提携先に対する売上により、セグメント売上高40百万円を見込んでおります。

これらの施策の結果として次期は、売上高は213百万円、営業利益は△976百万円、経常利益は△998百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は△998百万円を見込んでおります。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループの当連結会計年度末の手元資金(現金及び預金)残高は1,460,867千円となり、財務基盤については安定的に推移しております。一方で事業面におきましては細胞シート再生医療事業の重要課題である当社細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化の道程を示すまでには至っておらず、当社グループは当連結会計年度末において、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在していると判断しております。

当社グループは当該状況の解消を図るべく、以下の施策に取り組んで参ります。

当社細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化の実現と事業提携の推進による収益機会の獲得

当社グループは、今後、食道再生上皮シート並びに軟骨再生シートの開発を推進し、当社細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化を実現すること、また事業提携先の開拓を通じて、更なる収益機会を獲得していくことで当該状況の解消を図って参ります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針です。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針です。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当連結会計年度 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,065,072	1,460,867
売掛金	56,562	45,880
商品及び製品	16,489	15,304
仕掛品	1,537	310
原材料及び貯蔵品	30,164	27,097
前払費用	19,093	20,783
未収消費税等	53,350	50,698
その他	3,216	1,246
流動資産合計	1,245,486	1,622,187
固定資産		
有形固定資産		
建物	22,058	12,508
機械及び装置	3,849	2,286
工具、器具及び備品	50,591	41,533
減価償却累計額	△47,386	△56,329
有形固定資産合計	29,113	—
無形固定資産		
ソフトウェア	552	—
無形固定資産合計	552	—
投資その他の資産		
投資有価証券	119,799	—
関係会社株式	—	106,007
その他	61,289	78,262
投資その他の資産合計	181,089	184,270
固定資産合計	210,755	184,270
資産合計	1,456,242	1,806,457
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,313	4,765
未払金	33,733	41,489
未払法人税等	10,574	18,044
賞与引当金	4,244	4,808
前受金	30,114	28,649
その他	22,467	22,328
流動負債合計	110,447	120,084
固定負債		
長期借入金	—	160,000
固定負債合計	—	160,000
負債合計	110,447	280,084

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当連結会計年度 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,872,335	4,348,286
資本剰余金	1,094,132	1,570,083
利益剰余金	△3,617,630	△4,401,491
自己株式	△227	△227
株主資本合計	1,348,609	1,516,651
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	△321
為替換算調整勘定	△21,340	△13,890
その他の包括利益累計額合計	△21,340	△14,211
新株予約権	18,525	23,933
純資産合計	1,345,795	1,526,373
負債純資産合計	1,456,242	1,806,457

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
売上高	275,824	199,466
売上原価	59,196	61,279
売上総利益	216,627	138,186
販売費及び一般管理費		
研究開発費	546,181	438,839
その他	451,243	418,868
販売費及び一般管理費合計	997,424	857,708
営業損失(△)	△780,796	△719,521
営業外収益		
受取利息	11	11
為替差益	123	172
受取手数料	466	204
還付加算金	175	47
その他	33	8
営業外収益合計	809	443
営業外費用		
支払利息	181	152
持分法による投資損失	—	14,996
新株発行費	6,064	10,474
営業外費用合計	6,246	25,622
経常損失(△)	△786,234	△744,701
特別利益		
新株予約権戻入益	3,663	1,737
特別利益合計	3,663	1,737
特別損失		
減損損失	—	37,096
特別損失合計	—	37,096
税金等調整前当期純損失(△)	△782,571	△780,060
法人税、住民税及び事業税	△172	3,800
法人税等合計	△172	3,800
当期純損失(△)	△782,398	△783,860
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△782,398	△783,860

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
当期純損失(△)	△782,398	△783,860
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△321
為替換算調整勘定	△3,885	7,449
その他の包括利益合計	△3,885	7,128
包括利益	△786,283	△776,732
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△786,283	△776,732
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,509,913	731,710	△2,835,232	△227	1,406,164
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)	362,421	362,421			724,843
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△782,398		△782,398
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	362,421	362,421	△782,398	—	△57,555
当期末残高	3,872,335	1,094,132	△3,617,630	△227	1,348,609

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	—	△17,454	△17,454	23,074	1,411,784
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)					724,843
親会社株主に帰属する当期純損失(△)					△782,398
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	△3,885	△3,885	△4,548	△8,434
当期変動額合計	—	△3,885	△3,885	△4,548	△65,989
当期末残高	—	△21,340	△21,340	18,525	1,345,795

当連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,872,335	1,094,132	△3,617,630	△227	1,348,609
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)	475,951	475,951			951,902
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△783,860		△783,860
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	475,951	475,951	△783,860	—	168,041
当期末残高	4,348,286	1,570,083	△4,401,491	△227	1,516,651

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	—	△21,340	△21,340	18,525	1,345,795
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)					951,902
親会社株主に帰属する当期純損失(△)					△783,860
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△321	7,449	7,128	5,407	12,536
当期変動額合計	△321	7,449	7,128	5,407	180,578
当期末残高	△321	△13,890	△14,211	23,933	1,526,373

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失(△)	△782,571	△780,060
減価償却費	5,495	9,777
減損損失	—	37,096
受取利息	△11	△11
支払利息	181	152
持分法による投資損益(△は益)	—	14,996
為替差損益(△は益)	3	—
株式報酬費用	△2,201	6,104
新株発行費	6,064	10,474
新株予約権戻入益	△3,663	△1,737
売上債権の増減額(△は増加)	271,285	10,344
たな卸資産の増減額(△は増加)	7,949	5,479
差入保証金の増減額(△は増加)	—	△15,000
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△14,626	3,426
仕入債務の増減額(△は減少)	1,485	△4,548
未払金の増減額(△は減少)	△24,289	668
前受金の増減額(△は減少)	△34,502	△1,465
賞与引当金の増減額(△は減少)	4,244	564
その他の流動負債の増減額(△は減少)	653	1,219
小計	△564,500	△702,518
利息の受取額	9	9
利息の支払額	△181	△161
法人税等の支払額	△12,838	1,990
営業活動によるキャッシュ・フロー	△577,511	△700,678
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△13,199	△6,450
無形固定資産の取得による支出	△275	△3,834
投資有価証券の取得による支出	△119,799	—
敷金の差入による支出	—	△2,330
投資活動によるキャッシュ・フロー	△133,274	△12,615
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	160,000
新株予約権の行使による株式の発行による収入	718,364	938,683
新株予約権の発行による収入	2,884	4,245
財務活動によるキャッシュ・フロー	721,248	1,102,928
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,283	6,160
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	7,178	395,794
現金及び現金同等物の期首残高	1,057,893	1,065,072
現金及び現金同等物の期末残高	1,065,072	1,460,867

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、事業領域の核を「再生医療」として、国内・海外で再生医療支援事業、細胞シート再生医療事業の活動を展開していることから、「再生医療支援事業」及び「細胞シート再生医療事業」の2つを報告セグメントとしております。

「再生医療支援事業」では、温度応答性細胞培養器材等の研究開発・製造・販売を中心に行っており、「細胞シート再生医療事業」では、現在、細胞シート再生医療等製品の研究開発を中心に行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1, 2, 3, 4, 5	連結財務諸 表計上額 (注) 6
	再生医療支援 事業	細胞シート再 生医療事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	117,134	158,689	275,824	—	275,824
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	117,134	158,689	275,824	—	275,824
セグメント損失(△)	△43,944	△424,248	△468,192	△312,604	△780,796
セグメント資産	61,621	178,176	239,797	1,216,444	1,456,242
セグメント負債	11,777	45,428	57,206	53,240	110,447
その他の項目					
減価償却費	—	—	—	5,495	5,495
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	—	—	—	15,227	15,227

(注) 1 セグメント損失(△)の調整額△312,604千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に親会社本社の経営企画部門などに係る費用であります。

2 セグメント資産の調整額1,216,444千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に親会社での余資運用資金及び管理部門などに係る資産であります。

3 セグメント負債の調整額53,240千円は、各報告セグメントに配分していない全社負債であります。全社負債は、主に親会社での未払金、及び未払法人税などであります。

4 減価償却費の調整額5,495千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産に対するものであります。

5 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額15,227千円は、報告セグメントに帰属しない親会社本社などの設備投資額であります。

6 セグメント損失(△)は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1, 2, 3, 4, 5	連結財務諸 表計上額 (注) 6
	再生医療支援 事業	細胞シート再 生医療事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	147,314	52,152	199,466	—	199,466
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	147,314	52,152	199,466	—	199,466
セグメント損失(△)	△38,901	△390,492	△429,393	△290,127	△719,521
セグメント資産	89,374	161,587	250,961	1,555,496	1,806,457
セグメント負債	11,414	50,063	61,478	218,605	280,084
その他の項目					
減価償却費	—	—	—	9,777	9,777
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	—	—	—	16,850	16,850

- (注) 1 セグメント損失(△)の調整額△290,127千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に親会社本社の経営企画部門などに係る費用であります。
- 2 セグメント資産の調整額1,555,496千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に親会社での余資運用資金及び管理部門などに係る資産であります。
- 3 セグメント負債の調整額218,605千円は、各報告セグメントに配分していない全社負債であります。全社負債は、主に親会社での未払金、未払法人税、長期借入金などであります。
- 4 減価償却費の調整額9,777千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産に対するものであります。
- 5 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額16,850千円は、報告セグメントに帰属しない親会社本社などの設備投資額であります。
- 6 セグメント損失(△)は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:千円)

日本	欧州	アジア	米国	合計
62,204	48,725	164,552	341	275,824

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2 各区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

欧州・・・デンマーク

アジア・・・台湾

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
MetaTech(AP) INC.	164,552	細胞シート再生医療事業
Thermo Fisher Scientific Inc.	48,725	再生医療支援事業
フナコシ(株)	26,059	再生医療支援事業
学校法人東京女子医科大学	14,074	再生医療支援事業

当連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:千円)

日本	欧州	アジア	米国	合計
66,627	53,591	79,248	—	199,466

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2 各区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

欧州・・・デンマーク

アジア・・・台湾

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
MetaTech(AP) INC.	79,248	細胞シート再生医療事業
Thermo Fisher Scientific Inc.	53,591	再生医療支援事業
フナコシ(株)	32,246	再生医療支援事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

(単位:千円)

	再生医療支援事業	細胞シート再生医療事業	全社・消去	合計
減損損失	—	—	37,096	37,096

(注) 「全社・消去」の金額は、セグメントに帰属しない全社資産に係る減損損失であります。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)		当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	
1株当たり純資産額	102円24銭	1株当たり純資産額	93円85銭
1株当たり当期純損失(△)	△66円60銭	1株当たり当期純損失(△)	△55円31銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。	

(注) 算定上の基礎

1 1株当たり純資産額

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当連結会計年度 (2020年12月31日)
純資産の部の合計額(千円)	1,345,795	1,526,373
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	18,525	23,933
(うち新株予約権)(千円)	(18,525)	(23,933)
普通株式に係る純資産額(千円)	1,327,269	1,502,439
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(千株)	12,981	16,008

2 1株当たり当期純損失

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
1株当たり当期純損失		
親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△782,398	△783,860
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△782,398	△783,860
普通株式の期中平均株式数(千株)	11,748	14,173
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	第14回 850個 第15回 100個 第17回 500個	第14回 850個 第15回 80個 第17回 460個

(重要な後発事象)

(第19回新株予約権の権利行使)

当社が2020年8月6日に発行した第19回新株予約権につき、2021年1月1日から2021年2月10日までの間に、以下のとおり行使されました。

(1) 新株予約権行使の概要

- ① 新株予約権の名称
株式会社セルシード第19回新株予約権
- ② 行使価格
1株あたり227～259円
- ③ 行使新株予約権個数
3,926個
- ④ 行使者
バークレイズ・バンク・ピーエルシー (Barclays Bank PLC)
- ⑤ 交付株式数
392,600株
- ⑥ 行使価額総額
92,625千円

(2) 当該新株予約権行使による発行済株式数及び資本金

- ① 増加する発行済株式数
392,600株
- ② 増加する資本金の額
46,524千円